

ドイツ語 (German)

ドイツ語初級 (Elementary German)

(総科((人文)1年))

井戸 慶治・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1単位 後期 水 1・2

(平成19年度以前の授業科目:『ドイツ語初級』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『ドイツ語(1)』)

【授業の目的】ドイツ語文法の基礎を学び、ドイツ語圏の文化や事情を知る。英語以外の外国語を学び、英語圏以外の外国の事情や文化を知ること、偏りのない健全な国際感覚を持つために必要であり、知的な刺激を得るためにも有益である。ドイツはヨーロッパにおける日本の重要な貿易や文化交流の相手であり、かつて板東収容所でドイツ人捕虜が「第九」を初演したことなどにより、徳島との関連も深い。

【授業の概要】ペア授業のひとつであるが、この授業では主として文法説明、練習問題、読章からなる教科書を用いて上記のことを学ぶ。知識を少しずつ確実なものにしてゆくため、授業のはじめに前回習った基本的な事項について小テストで問う。時として、視聴覚教材などを用いてドイツ語圏の文化や事情を紹介する。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 1. 辞書を用いて簡単なドイツ語を読むことができ、初歩的なドイツ語作文ができるようになること。

【授業の計画】

1. 導入
2. 動詞の3基本形・過去
3. 現在完了・過去完了
4. 話法の助動詞・未来
5. 形容詞の格変化・名詞化
6. zu 不定詞・man
7. 比較
8. 中間試験
9. 再帰代名詞
10. 非人称動詞
11. 受動・分詞
12. 関係詞・指示代名詞
13. 接続法

14. 接続法(2)

15. 期末試験

16. 予備

【教科書】 ドイツ文法の森(第三書房)

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 中間試験、期末試験、平常点(小テスト、授業への取り組み方など)で総合的に評価する。

【再試験の有無】 なし

【受講者へのメッセージ】 出席を怠らず、課題をしっかりと果たすこと。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221242>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 井戸 (ido@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 この授業は、月曜日5・6講時のヘルベルト先生の授業とペアになっており、原則として両方を受けなければならない。

German

Elementary German

(総科((人文)1年))

keiji Ido · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 後期 水 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目:『ドイツ語初級』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『ドイツ語 (1)』)

Target) ドイツ語文法の基礎を学び、ドイツ語圏の文化や事情を知る。英語以外の外国語を学び、英語圏以外の外国の事情や文化を知ること、偏りのない健全な国際感覚を持つために必要であり、知的な刺激を得るためにも有益である。ドイツはヨーロッパにおける日本の重要な貿易や文化交流の相手であり、かつて板東収容所でドイツ人捕虜が「第九」を初演したことなどにより、徳島との関連も深い。

Outline) ペア授業のひとつであるが、この授業では主として文法説明、練習問題、読章からなる教科書を用いて上記のことを学ぶ。知識を少しずつ確実なものにしてゆくため、授業のはじめに前回習った基本的な事項について小テストで問う。時として、視聴覚教材などを用いてドイツ語圏の文化や事情を紹介する。

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) 1. 辞書を用いて簡単なドイツ語を読むことができ、初歩的なドイツ語作文ができるようになること。

Schedule)

1. 導入
2. 動詞の 3 基本形・過去
3. 現在完了・過去完了
4. 話法の助動詞・未来
5. 形容詞の格変化・名詞化
6. zu 不定詞・man
7. 比較
8. 中間試験
9. 再帰代名詞
10. 非人称動詞
11. 受動・分詞
12. 関係詞・指示代名詞
13. 接続法

14. 接続法 (2)

15. 期末試験

16. 予備

Textbook) ドイツ文法の森 (第三書房)

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 中間試験、期末試験、平常点 (小テスト、授業への取り組み方など) で総合的に評価する。

Re-evaluation) なし

Message) 出席を怠らず、課題をしっかりと果たすこと。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221242>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Ido (ido@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) この授業は、月曜日 5・6 講時のヘルベルト先生の授業とペアになっており、原則として両方を受けなければならない。